

健康



賀川 久美子 徳島大学病院 血液内科講師

白血病や 悪性リンパ

腫など血液がんの患者さんに対する治療は近年、

大きく進歩し、抗がん剤

治療や放射線治療、造血

幹細胞移植などを組み合

わせることで、治療が期

待できるようになってき

ました。そんな中、がん

が治った後の性腺機能低

下(精子や卵子を作る機

能が障害されること)や

妊孕性(妊娠のしやす

さ)の喪失が注目されて

います。医療機関で現在

行われているがん患者さ

んに対する精子や卵子、

受精卵の保存について説

明します。

血液がんの患者さんに

は、数種類の抗がん剤を

組み合わせて治療をしま

す。男性の場合使っ

た剤の種類によって、一時

的もしくは長期的に精子

質問

30代男性です。白血病で抗がん剤治療を受けることになりましたが、副作用で精子を作る機能が低下すると聞きました。昨年結婚して子どもが欲しいと考えており、精子の凍結保存を勧められました。子どもができる確率はどのくらいでしょうか。健康な子どもが生まれるのかも心配です。

質問

薬副作用による生殖機能低下

妊娠例は古くからあり、さんに対して、未受精卵を保存する技術が開発されています。凍結受精して妊娠した場合と比較、発育に悪影響があつたり、先天性形などの頻度が高くなつたりという報告はありません。女性のがん患者さんにしても、抗がん剤や放射線治療後の無月経や不妊症が問題となつていま



「がん何でもQ&A」

が作られない状態(無精子症)になることが知られていきます。年齢や治療回数などで程度は異なり

ますが、影響の強い薬剤

として「シクロホスファミド」「メルトラン

ニ「フルビン」などに

性が損なわれている場合

があります。大量の抗がん剤や放射線を使う造血

幹細胞移植後は、ほぼ100%の確率で卵巣機能が失われます。

女性患者さんの妊孕性が失われます。

前に専門病院で精子を採取し、凍結保存します。

比較の容易にできるため、治療が急がれる場合

は、卵子を体外から取り出す「採卵」が必要になり

50~80%とされています。凍結解凍精子による

日間、ホルマリンを注射して凍くたす。

凍結精子生存率は50~80%

子どもへの悪影響なし

「採卵」が重要になり、卵子を体外から取り出すために、詳しくはウェブページをご覧ください。詳しくはウェブページをご覧ください。詳しくはウェブページをご覧ください。

第4土曜掲載

がんに関する質問は徳島がん対策センターへ電話(08(634)642)(平日午前8時から午後5時まで)にお寄せください。詳しくはウェブページをご覧ください。詳しくはウェブページをご覧ください。

近年、未婚の女性患者は、手術を行いますが、抗がん剤治療中は免疫機能が低下し、出血を止めるために必要な血小板も減ります。手術を行いますが、抗がん剤治療中は免疫機能が低下し、出血を止めるために必要な血小板も減ります。

近年、未婚の女性患者は、手術を行いますが、抗がん剤治療中は免疫機能が低下し、出血を止めるために必要な血小板も減ります。手術を行いますが、抗がん剤治療中は免疫機能が低下し、出血を止めるために必要な血小板も減ります。